

第108回経営協議会 議事概要

書面附議期間 令和2年5月12日（火）～5月25日（月）

出席者 山崎光悦（議長），大竹茂樹，和田隆志，大西啓介，村井淳志，森本章治，中村裕之，蒲田敏文，上村大輔，大橋徹二，河田悌一，後藤ひとみ，小松親次郎，中西吉明，原田明久，村山卓，矢部彰，山内雅喜

1 前回議事確認

第107回経営協議会 3月11日～3月18日開催

2 協 議

（1）学長選考会議委員の選出

書面附議の結果，以下のとおり承認された。

委員総数18のうち，回答 17，無回答 0 合計17（議長を除く委員数）

- ・承認する 17
- ・承認しない 0

（2）新型コロナウイルス感染症に関する手当の新設

書面附議の結果，以下のとおり承認された。

委員総数18のうち，回答 17，無回答 0 合計17（議長を除く委員数）

- ・承認する 17
- ・承認しない 0

[委員からの主な意見]

- 金額設定及び今後の改廃の基本（基準）となる考え方を、少なくとも事務的に整理しておくとういよと考える。

3 報 告

（1）令和2年度の運営体制

事務局から，資料4-1～4-2に基づき，令和2年度の運営体制について，報告があった。

（2）新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応状況

事務局から，資料5に基づき，新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応状況について，報告があった。

[委員からの主な意見]

- 新型コロナウイルス感染症に対する方針は、迅速かつ的確な対応と評価する。
- 新型コロナウイルス感染症に係る学生支援の準備として、学生がどのような生活をしているか、経済面、研究面、学習面から、幅広く情報を集めて整理しておく、今後の対応に有効と思われる。

(3) 令和2年度文部科学省補正予算

事務局から、資料6-1～6-2に基づき、令和2年度文部科学省補正予算について、報告があった。

(4) 令和元年度金沢大学資金運用実績報告

事務局から、資料7に基づき、令和元年度金沢大学資金運用実績報告について、報告があった。

(5) 令和元年度科研費の採択・配分状況（旧六大学の比較）

事務局から、資料8に基づき、令和元年度科研費の採択・配分状況（旧六大学の比較）について、報告があった。

(6) 令和2年度科研費交付内定状況

事務局から、資料9に基づき、令和2年度科研費交付内定状況について、報告があった。

[委員からの主な意見]

- 科研費採択への尽力、特に基盤研究Aの応募件数の落ち込みを回復させていることについて評価できる。基盤研究A等の大型研究種目について申請件数を1.5倍程度に増やしてはいかかがか。申請における分野の壁が低くなっているため、他の分野との競争が可能となっている。
A-Med（日本医療研究開発機構）関係等の申請に、より一層力を入れて頂きたい。
- 科研費の採択件数が年々伸びており、素晴らしい。
- 「令和元年度科研費の採択・配分状況（旧六大学の比較）（資料9）」と同様に平成25年度との比較があると良いと思われる。
- 科研費申請に関する支援活動は充分に行っており、継続していただきたい。
また、教員における競争的資金の保有割合を指標とすることも有効なように思われる。
さらに、研究者が連携して大きな科研費に挑戦するような工夫を推奨し、より活性化を図っていただきたい。